



ペットボトル芝生育生ガイド（2015年版）

1. ペットボトル芝生の置き場所

（1）芽が出るまで

種まきをしたペットボトルは、芽が出るまでは日光に当てる必要はないので、室内に置いて乾かさないように管理して下さい。ストーブの温風があたるような場所は、乾燥しやすいので要注意。もし砂の表面が乾いてしまった時は、霧吹きなどで砂を十分に湿らせて下さい。

（2）芽が出てから

種まきから1週間～10日で芽が出はじめ、1日～2日で芽が出そろるので、昼間は日光に当てるようにします。屋外でもよいですが、冬は寒さがきびしいのでなるべく室内で日のあたる窓辺などで、育てて下さい。屋外の場合は、軒下やベランダなど直接雨がかからない場所に置いて下さい。

2. 水やり

（1）芽が出るまで

芽が出るまでの間は上に説明したように、室内で乾かさないように管理するだけで、特に水やりは必要ありません。

（2）芽が出てから

砂が乾いてきたら、ペットボトル芝生を置いたトレイに水を注いでペットボトルの底から給水するようにします。冬は芝がたくさん水を必要としないので、しょっちゅう水やりをする必要はありません。

3. 肥料の与え方

芽が出てしばらくの間、肥料は必要ありません。2月中旬以降、芝の育ち具合を見ながら、ペットボトルを置いたトレイに水でうすめた液体肥料（ハイポネックスなど）や粒状の緩効性の肥料をいれます。あまり頻繁に多量の肥料を与えると、いわゆる「肥料やけ」を起こしますので、葉の色や成長の速さをみながら調節して下さい。

4. 刈り込みについて

冬場はあまり成長が早くありませんが、葉が5cm以上に伸びたら、刈った葉が中に入らないようにペットボトルを横にして、4cmぐらいに、はさみで刈りそろえて下さい。日当たりや肥料の具合にもよりますが、こまめに刈った方が葉がよく茂ります。

（以上）